

⑯日本国特許庁 (JP) ⑯特許出願公開
⑯公開特許公報 (A) 昭63-242754

⑯Int.CI.
B 60 R 22/32
22/24

識別記号 庁内整理番号
8510-3D
8510-3D

⑯公開 昭和63年(1988)10月7日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑯発明の名称 3箇所着脱シートベルト

⑯特 願 昭62-76816
⑯出 願 昭62(1987)3月30日

⑯発明者 服 部 浩 愛知県一宮市萩原町林野字更屋敷2番地
⑯出願人 服 部 浩 愛知県一宮市萩原町林野字更屋敷2番地

明細書

1. 発明の名称

3箇所着脱シートベルト

2. 特許請求の範囲

(1) 長さ調整できるシートベルト上方端部に着脱装置(1)を設け、そのシートベルト中間部に摺動自在に着脱装置(2)を設けるとともに、そのシートベルト下端部に着脱装置(3)を設け、その着脱装置(3)を車体に嵌着する着脱装置(7)を車体に設けたことを特徴とする3箇所着脱シートベルト。

(2) シートベルト上方端部着脱装置(1)を車両側シートベルト端部着脱装置(5a)と嵌合したシートベルトにした特許請求の範囲第1項記載の3箇所着脱シートベルト。

3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

この発明は、シートベルトが3箇所で着脱できることにより車両事故のときシートベルトが即座に緊急脱出、救出ができるシートベルトに関する

ものである。

「従来の技術」

従来のシートベルトは車両内中央部1箇所着脱方式のため事故で緊急脱出、救出を要したときシートベルトが邪魔になる。

それでも簡単に取り替えができない。

座高の低い人は頭、首に当たり危険である。

胸、肩を圧迫する。

「発明が解決しようとする問題点」

しかし事故で車両内重症者を緊急救出するにも車両は内部まで大破、車外からシートベルトが外せない。

この発明は簡単な手段によって上記の欠点を除去することを目的とする。

「問題を解決するための手段」

この発明は、シートベルト上端部に従来のシートベルト中央着脱装置部(5)に嵌着する着脱装置(1)を設ける、シートベルト中間部に摺動自在に従来のシートベルト中央着脱装置(6)に嵌着する着脱装置(2)を設ける、シートベルト下端部に着

BEST AVAILABLE COPY

着脱装置(3)を設け座席横下所定位置に着脱装置(7)を固着。

「作用」

上記のように構成されたシートベルトを従来のシートベルトの着脱装置(5)に着脱装置(1)を嵌着シートベルトを正常に締めると座高に合わせて着脱装置(5)は適度な高さに摺動する、緊急脱出の場合も3箇所外せるため搭乗者に心配させず安全に作用する。

「実施例」

第2図は本発明のシートベルトを3箇所嵌着実施図で第1図ではシートベルトの取り替え、緊急脱出のとき、どの箇所からでも外せる実施態様を示すものである、着脱装置(5)(6)は従来の車両の装置を利用、着脱装置(7)の取り付け部(11)を車体シートベルト下部取り付け位置に固着長さ調整は着脱装置(3)のベルト取り付け位置の長さ調整ベルトで行う

第3図は車両シートベルト端部着脱装置(5a)に嵌着1本のシートベルトにした実施態様図。

図。

(1, 2, 3, 5, 6, 7)は着脱装置
(4, 8)はシートベルト (12)は着脱部
(13)は長さ調整ベルト (9)は車両側面上部取り付け部 (10)は車両中央下部取り付け部
(11)は車両側面下部取り付け部

「発明の効果」

この発明は、以上説明したように従来のシートベルトに本発明のシートベルトを嵌着してシートベルトを締めることにより長さ調整で圧迫感をなくす。

座高に合わせて着脱装置(5)で高さ調整できる。緊急脱出のとき左右片方の手が動けば外すことができる。

搭乗者が重症失心状態で外部からの救出するとき邪魔なシートベルトは即座に外すことができる。汚れを洗濯できる。好みの色が嵌着でき搭乗者の気持ちを和らげ安全運転ができる。

4. 図面の簡単な説明

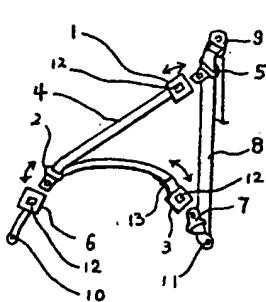
第1図は本発明シートベルトを3箇所で外した実施図。

第2図は本発明シートベルトを3箇所嵌着実施図。

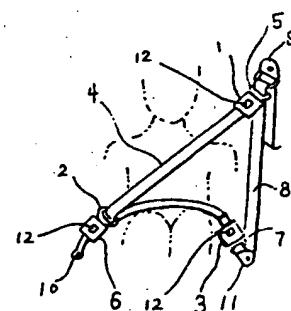
第3図は本発明シートベルトを車両側シートベルト端部に嵌着1本のシートベルトにした実施

図面

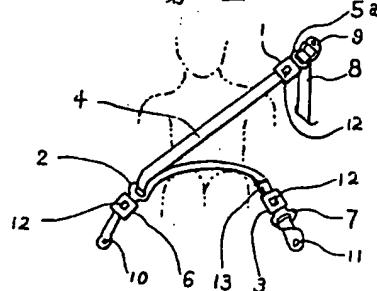
第1図



第2図



第3図



特許出願人 服部 浩

BEST AVAILABLE COPY

CLIPPEDIMAGE= JP363242754A

PAT-NO: JP363242754A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63242754 A

TITLE: THREE PLACES ATTACHABLE/DETACHABLE SEAT BELT

PUBN-DATE: October 7, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HATTORI, HIROSHI

INT-CL (IPC): B60R022/32; B60R022/24

US-CL-CURRENT: 280/808

ABSTRACT:

PURPOSE: To facilitate the removal of a seat left at the time of an accident by providing a mounting/removing device on each of the upper end part, middle part and lower end part of a three point supported seat belt and enabling each device to be mounted/removed onto and from a vehicle body.

CONSTITUTION: Seat belts 4, 8 are installed, equally to the conventional belt, at three places, the upper part middle part, and lower part of a vehicle body through attachable/detachable devices 5, 6, 7 at the three places. Attachable/detachable devices 1, 2, 3 which can be mounted/removed onto and from the attachable/detachable devices 5, 6, 7 of the body respectively are installed on the seat belt 4, 8. Hence, at the time of emergency such as an accident, either or whole of these three devices can be removed facilitating escape.

COPYRIGHT: (C)1988, JPO&Japio

----- KWIC -----

Document Identifier - DID:

JP 63242754 A

Current US Cross Reference Classification - CCXR:

280/808